



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

静岡県島田市
が応援するふるさと名物

悠久の大井川がもたらした
自然の恵みと伝統文化

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN



SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN SHIMADA GREEN Ci-TEA JAPAN





静岡県島田市

～南アルプスに続く山々と雄大な大井川の恵み～

島田市の
プロフィール



日本のほぼ中央に位置する島田市は、南アルプスに続く山々、緑美しい大茶園、その間をSLが走り抜ける魅力あふれるまちです。

いつの時代も島田市の発展とともにあるのが、南アルプスの山々に源を発し、駿河湾に注ぐ大井川の存在。江戸時代には東海道最大の難所として知られ、旅人が川越のため逗留する島田宿は「さながら江戸のよう」な賑わいを見せたといわれています。

明治から昭和にかけては、大井川の森林資源と水運を活かした木材産業が盛んになり、この地は「木都」と称されるほどになりました。また、職を失った旧徳川幕臣らによって牧之原台地が開墾され、東洋一といわれる大茶園が広がり、島田市は全国有数のお茶の産地となりました。



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

静岡県島田市

～大井川が育んだ独自の伝統文化～

島田市の
プロフィール



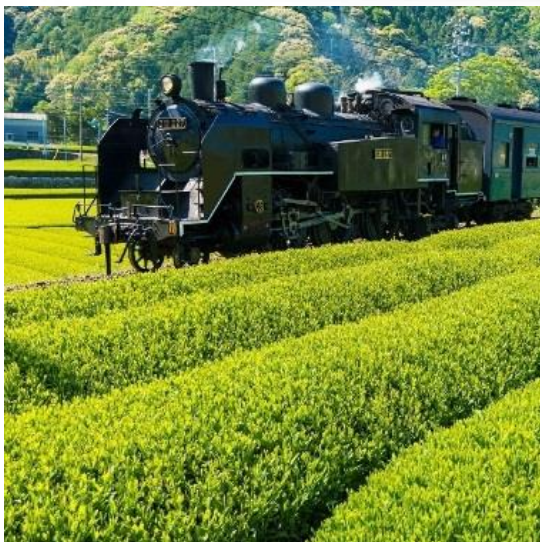
江戸時代、大井川を越えるため多くの旅人が島田宿に逗留し、自然とこの地に日本東西の文化が集積されていきました。こうして文化に対する造詣を深めていった住民たちによって、今に続く独自の伝統や文化が生まれました。

「島田大祭帯まつり」「島田鬘まつり」「金谷茶まつり」といった他に類を見ないまつり文化。大井川の両岸を繋ぐために架けられた、世界一長い木造歩道橋として知られる「蓬莱橋」。

近年は、富士山静岡空港の開港や新東名高速道路の開通によりこの地を訪れる国内外からの観光客も増加しています。

川の恵みにより人が集まり、産業が生まれ、まちが栄え、文化がもたらされた島田市にとって、大井川はかけがえのない存在です。

～大井川が育んだ地域資源（産業）～



◆静岡茶

（島田茶、金谷茶、川根茶）

大井川の澄んだ川霧を生かした島田茶、牧之原台地で日光をたっぷり浴びた金谷茶、そして山間部の涼冷な空気と肥沃な土壌で育まれた川根茶。大井川の清流と牧之原台地の大自然は、特徴的な三つの銘茶を生み出しました。

◆世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の茶と茶関連商品

茶園周辺のすすきや葦などの草を刈り、茶園の畝間に敷く伝統的な茶草場農法。茶草場には、固有種や絶滅危惧種を含む多くの生物が息づいています。良い土壌、高品質なお茶づくりだけでなく、農業と環境保全を共存させたこの農法は世界から評価され、世界農業遺産に認定されています。



～大井川が育んだ地域資源（産業）～



◆製茶機械

島田市は、製茶機械においても全国的に高いシェアを保っています。品種や発酵、加工方法が様々にあるお茶は、伝統と最新技術が融合した製茶機械で加工することで、高い品質を保ちつつ大量生産が可能となります。

◆志戸呂焼

徳川家康から朱印状が授けられ、茶人小堀遠州が愛用したことで世に広まった志戸呂焼は、非常に堅牢で湿気を寄せ付けないため、茶壺を中心に茶人の間で重宝されました。

その落ち着いた味わい深い風情から、今でもファンが多く、抹茶や煎茶の茶器などがつくられています。



～大井川が育んだ地域資源（産業）～



◆杉材・ひのき材・木製家具

江戸時代には、伐採された木材を大井川に流して運び出し、幕府御用達の木材として重宝されました。その後、戦後復興期には島田市の主要産業として発展し、現在でも家具、製函、木製玩具など広い分野で当市のものづくりの原点を支えています。

◆バラ

「市の花」でもあるバラ栽培が盛んな島田市。市内にある「島田市ばらの丘公園」では、世界各地の360種類8700株のバラが咲き誇り、島田市で生まれた品種「ミス・シマダ」や「メモリーオブシマダ」を観賞することもできます。



◆島田帯シャツ

帯まつりを表す帯をポイントに入れたご当地シャツです。夏の和文化の象徴である浴衣地には、帯まつりの大奴やバラ柄などが取り入れられ、島田市の歴史や伝統を表現しています。

～大井川が育んだ地域資源（観光）～

◆蓬萊橋

江戸時代、江戸防衛の観点から架橋が禁じられていた大井川。明治に入り、職を失った旧徳川幕臣らによって牧之原台地が開墾されると、その大茶園と島田宿を繋ぐ木造の「蓬萊橋」が架けられました。風情あふれる昔ながらの佇まいから、多くの時代劇やドラマのロケで利用され、年間10万人以上の観光客が訪れます。



◆大井川の川越し

「越すに越されぬ」と詠まれた大井川の激流。それは、屈強な川越人足が旅人を対岸まで運ぶ、独自の「川越制度」を生みました。旧東海道沿いの「島田宿大井川川越遺跡」(国指定史跡)では、旅人が川を渡るための「川札」を買った川会所をはじめ、番宿(ばんやど)、札場(ふだば)などの街並みなどが復元され、当時の様子を今に伝えています。



～大井川が育んだ地域資源（観光）～



◆大井川鐵道のSL

1976年の運行開始から、大井川鐵道（株）によってほぼ毎日運行されているSL（蒸気機関車）。現在は4台のSLが動態保存されており、いずれのSLも半世紀以上活躍し続けています。雄大な大井川と鮮やかな茶畑の中を走り抜けるその力強さと美しさを兼ね揃えた姿は、鉄道ファンはもとより、全国から訪れる観光客を魅了。2014年から運行がはじまった「きかんしゃトーマス号」は子どもたちに大人気です。

◆川根温泉

大井川に寄り添い、緑多き山々に囲まれた川根温泉は、日本で唯一露天風呂からSLを見ることができる温泉として人気を集めています。源泉かけ流し、泉質はナトリウム塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、疲労回復や美肌にも効果があります。



～大井川が育んだ地域資源（観光）～



◆島田大祭帯まつり

元禄8年（1695年）から続き、日本三奇祭のひとつとして全国的に有名です。奇祭と呼ばれる所以は、両脇に差した木太刀に丸帯を下げ、蛇の目傘を差して歩く25人の大奴（おおやっこ）。華やかな丸帯は、花嫁の安産祈願が由来といわれています。

◆島田髷まつり

文金高島田で知られる島田髷は、曾我物語に登場する島田市出身の遊女、虎御前が考案したといわれています。虎御前供養のため、揃いの浴衣に様々な日本髪を結った髷娘たちが披露する道中は見る者の目を奪うほど美しく、毎年多くの髷娘ファンが訪れます。



～大井川が育んだ産品～

①茶及び関連品（茶飲料・茶加工品・製茶機械・志戸呂焼）

緑茶はもちろんボトリングティー、燻製紅茶など、島田茶を活用したバラエティ豊かな茶飲料が製造されています。

また市内の飲食店では、お茶を活用した多くのメニューが提供されており、ご飯ものから和洋菓子、ジャムなどその種類も様々。市内企業も茶葉を用いた唐辛子、お茶を携帯できるペン型容器や茶箱など、ユーモア溢れる様々な商品を開発しています。

②木材加工品・バラ加工品・島田帯シャツ

市内企業によって製造された温もりを感じさせる木製家具や玩具は、大切な人への贈答品として評判です。バラのソフトクリームや雑貨、アクセサリなどは女性を中心に人気を集めています。帯シャツは、普段着から正装まで広く使える市民の夏の定番着です。



～大井川が育んだ産品～

③ 伝統文化から着想を得た産品

(「蓬莱橋」「大井川の川越し」「大井川鐵道のS L」「川根温泉」「島田大祭帯まつり」「島田鬣まつり」の関連商品)

市内企業では、大井川が育んだ伝統文化から着想を得た数々の魅力的な商品が販売されています。

「897.4mの長い木橋（厄無しの長生き橋）」であることから縁起が良いといわれる「蓬莱橋」や伝統の「大井川の川越」をモチーフにした和菓子、「帯まつり」から着想を得たうどん、「鬣まつり」の可憐な鬣娘をラベルにあしらった日本酒など。

これらの商品は、島田市の魅力を高め、認知度向上のシンボルとなる存在として市民に愛され、バイヤーなどからも高い評価を得ています。



1

島田市緑茶化計画



◆地球上でもっとも緑茶を愛する街 (Ci-Tea)

小学校に緑茶が出る水道があったり、郵便ポストが緑茶色だったり。お茶が市民に深く根ざしている島田市では、「島田市緑茶化計画」というシティプロモーションを行っています。

事業者と団体、行政が連携し、オリジナル緑茶ブランドの開発や「蓬萊橋897.4茶屋 (やくなしちゃや)」での物産販売、観光客向け体験プログラムの企画、緑茶化メニューを提供する飲食店カタログの発行などに取り組んでいます。



2

島田の逸品



◆「島田の逸品」～日本に誇る島田のモノがたり～

島田市の魅力を日本や世界に発信するために、当市の歴史や文化、伝統、自然が表現されている産品を市内事業者から募集し「島田の逸品」に認定。緑茶や茶の加工品をはじめ、当市の伝統文化をモチーフにした和菓子や酒、木製玩具など18品を選出し、全国の物産展などに出品して島田市の認知度を向上させるとともに、事業者の販路開拓を支援しています。

◆木材利用促進～木都島田の再興～

島田市では「島田市公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を制定し、認証材の利用促進を進めています。公共の建築物をはじめとし多岐に渡り木材の効果的な利活用を図ることで、多くの方が木と触れ合い、木の魅力を実感できる機会を提供しています。

3

木材活用推進



島田市長からのメッセージ

島田市は悠久なる大井川に生まれ、江戸時代から人・もの・文化の集積地として発展してまいりました。

ゆえにこの地の人々には、伝統を守りながらも異文化を受け入れ、さらに新技術を生み出す精神が根付いています。



富士山静岡空港の開港や、近年のソーシャルメディアの飛躍的な発達により、今、当市と世界との距離は非常に近いものとなっております。

島田市は、大井川が育んだ素晴らしい地域資源を世界へ発信するため、「悠久の大井川がもたらした自然の恵みと伝統文化」を島田市のふるさと名物として応援することを、ここに宣言いたします。

島田市長 染谷 絹代